

令和6年度5月号

## 算数・数学チャレンジクラブだより



5月の爽やかな  
風に吹かれて  
かがイルです

(公財) 金沢子ども科学財団

〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号

Tel 076(221)2061 Fax 076(221)2062

e-mail [kodomokagaku-oubo@kanazawa-city.ed.jp](mailto:kodomokagaku-oubo@kanazawa-city.ed.jp)

クラブ員の皆さん、いよいよ算数・数学チャレンジクラブがスタートしました。

令和6年度は、5年生81名、6年生77名、中学1年生48名、中学2年生33名、中学3年生20名でスタートです。また算数オリンピック支援講座は、6月までの4回で終了です。算数オリンピッククラス（小学6年生）11名、ジュニア広中杯クラス（中学1年生と2年生）15名、広中杯クラス（中学3年生）6名です。

これからの1年間、「算数する心」「数学する心」を磨き、算数・数学を楽しみましょう。担当の先生方も皆さんと一緒に頑張ります。保護者の皆さま、至らぬことも多々あると思いますがよろしく申し上げます。何かございましたらご連絡ください。

### 今後の予定表

月	小学5年生	小学6年生	中学生	オリンピック支援
5月	5月11日(土) 詰めアルゴ	5月18日(土) A組 グラフ通りに歩こう B組 二進数サイコロ	5月26日(日) 中1 数列と芸術 中2 文字式 中3 薬の数学	5月19日(日)
6月	6月15日(土) A組 プログラミング B組 ルービックキューブ	6月8日(土) A組 二進数サイコロ B組 ポリドロン	6月16日(日) 午前 中3のみ 音楽と数学 6月23日(日) 附属高校生と交流講座 全体交流会 その後 中1 魔法陣と数学 中2 天秤問題 中3 数式変形	6月9日(日)
6月16日(日) 午後 算数オリンピックトライアル検定 会場：長土塀青少年交流センター 3F 学習室 ・受付 13:30 ~ 13:45 ・説明・諸注意 13:45 ~ 13:55 ・検定時間 14:00 ~ 15:30 申込者のみ受検 受検級によって時間が違います ・連絡等 15:30 ~ 15:40 ・解散 15:40				

<時々確認をお願いします>

- 算数・数学チャレンジクラブだよりは掲載月の10日ほど前に財団ホームページにアップします。時々財団ホームページからご確認ください。紙媒体のチャレンジクラブだよりは、各講座の際に配付します。
- 講座が一つ終わると、HPの各学年の講座のサイトに次回の講座の大まかな内容や持ち物、注意点などを新たに掲載します。HPにアップしたら、その旨をメールで送りますので、各学年のパスワードを入力してアクセスし、内容を必ずご確認ください。
- 欠席連絡は、前日お昼までにメールでお願いします。当日になっての急な欠席の場合は、電話(221-2061)でお願いします。無断欠席だけは、くれぐれもないようにお願いします。

## お知らせ・お願い

### ① 年会費の納入について（重要）

算数チャレンジクラブの年会費は 1,500 円です。1 回目の講座で年会費未納のクラブ員は、次回までには必ず納入をお願いします。

### ② 算数オリンピックトライアル地方大会の申し込みは、5月11日(土)が メ切厳守です

**重要**「算数オリンピックトライアル地方大会受検」の提出について

「2023年算数オリンピックトライアル大会の申し込み」を受け付けます。「算数オリンピック大会受検」のパンフレットを読まれて、オリンピック支援講座生全員と算数数学チャレンジクラブ員の希望者は、代金を添えて5月11日(土)【厳守】までに提出してください。なお、クラブ員の兄弟姉妹で参加を希望する場合も受け付けます。

各講座開催日での提出に間に合わない場合は、センター3階の財団事務局まで直接持参願います。（日曜・月曜不可 9時～15時で必ずお釣りのないように）申込用紙は事務局にもあります。

## 算数・数学チャレンジ教室の様子



(↑ 数列について説明する先生)  
(仲間と協力して数列クイズを考える→)

4月13日(土)に、第1回目の算数チャレンジ講座6年生がありました。数列のきまりを見つけていきます。たとえば、 $1 \cdot 3 \cdot 5 \cdot \square \cdot 9$ だったら、虫食いになっている口は7と簡単です。講師の山越先生は考えることを特に大切に、クラブ員オリジナルの数列を考えさせる



活動をたくさん取り入れていました。1年間の付き合いで、友達になったクラブ員もいて、和気あいあいと話し合いながら数列を考える姿も見られ、楽しい時間となりました。



(↑ 実物投影机を使って、図形が消失するわけを中学生に説明させる講師)  
(どう配置したら図形が一つ消えるのか、頭を悩ます中学生→)

4月14日(日)は、中学生全体の開講講座が開かれました。1枚の絵を斜めに切つてずらすと、あら不思議、確かに7本あった棒が6本になってしまうのです。図形が消失するワナダーパズルです。講師の戸水先生が大切にしたのは、なぜそうなるのかを自分の言葉で説明することと、オリジナルのパズルを作ることでした。ところが、図形が消えるカラクリは意外に難しく、ずらしても数が変わらないパズルになってしまい、クラブ員は頭をひねって減らし方を考え込んでいました。

